

令和六年度 国語（文学科 日本語日本文学専攻） 解答例

一 (一〇〇点)

問一 ① 染 ② きせいひん ③ おくゆ ④ 獲得 ⑤ 防衛 ⑥ ぜんしんてき ⑦ べんぎ  
てき ⑧ 納得 ⑨ 拒否 ⑩ ぜっく (各三点)

問二 ア 自分の力では処理できない イ 他からの働きかけに対し、すばやく反応する (各  
四点)

問三 あいくつかの定型的なキャラクター(わかりやすい便宜的な「ラベル」) い 与えられ  
たキャラ う わかること (各四点)

問四 思春期において起こる心と身体の不整合を無理やり押さえ込んで、傷つきやすい自我を  
防衛したいから。(二〇点)

問五 成熟 (一〇点)

問六 コミュニケーションとは、単に仲間うちでのやりとりが上手であるとか、受け答えが早  
いということではなく、相手の言葉を受け止めて、自分の言うべき言葉を探して言いよど  
んだり、言い直したり、相手との考えの違いに絶句したり、相手の真意を確認するために  
聞き返したりする中で行われるものである。(二〇点)

二 (六〇点)

問一 古今 (五点)

問二 ア 見えけれ(けれ) イ 聞こゆる ウ 結びが流れている (各二点)

問三 ② すばらしくて(趣きぶかくて) ③ 漏らすことができないのです

④ 最後まで紅葉しない (各七点)

問四 後撰和歌集の「緑の松」は、松が常緑樹であることがわかりやすくてよいように思われ  
るが、古今和歌集の「紅葉ぬ」は紅葉しないということで間接的に松が常緑樹であること  
を表現しているところに、より風情があると考えるから。

(紅葉という言葉を使うことで、松の緑と紅葉の赤が対照されるところに、より風情がある  
と考えるから。) (二〇点)

問五 紀友則 紀貫之 壬生忠岑 凡河内躬恒 の四人のうち誰か一人 (五点)

三 (四〇点)

問一 才 (六点)

問二 ひとまさにわれをこばまんとす (九点)

問三 如<sub>レ</sub>之何其拒<sub>レ</sub>人也 (九点)

問四 子張はまず自分が包容力のある人になりたいと考えていて、人を拒む資格は自分にな  
いと考えている。子夏は相手が自分より劣っていれば拒むこともあり、人の優劣に応じて態  
度を変える子夏の心の狭さを、子張はいけないと考えている。(一六点)